

水稻の生育状況と今後の管理対策（第1号）

令和7年5月30日
新潟県農林水産部

〔5月29日現在の県内全域の生育概況〕

- コシヒカリでは指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「やや少ない」、葉数の進みは「並」の状況です。
- 新之助では指標値に比べ、草丈は「短い」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「遅い」状況です。

〔気象予報と今後の生育見込み〕

- 5月29日発表の北陸地方1か月予報（5月31日から6月30日）では、平均気温は高く、降水量はほぼ平年並み、日照時間はほぼ平年並みと予想されています。5月20日発表の3か月予報（6月から8月）では、暖かい空気に覆われやすいため、気温は高いと予想されています。
- 県の調査ほ（田植日の平均は5月12日）における生育状況では、今年の中干し^{*1}開始適期は田植後日数で31日（県平均の田植日では6月12日）と予測されます。

*1 中干し（なかぼし）：田の水を落として、一時的に田を乾かすこと。

〔今後の管理対策のポイント〕

コシヒカリ

- 地温の上昇にともない、田のワキ^{*2}の発生が多くなることが予想されます。ワキの発生が多いほ場では夜間落水等によるガス抜きを行い、初期の分けつを確保しましょう。
- 夏季の高温に備えて、穂肥を施用できる適切な生育量にするため、田植後25日を過ぎたら茎数を必ず確認し、目標穂数の7～8割の茎数を確保したら中干しを開始しましょう。また、溝切りを必ず行い、中干し効果を高めてください。特に、連休植えのほ場や生育が過剰になりやすいほ場では、直ちに茎数を確認し、遅れずに中干しを開始してください。

新之助

- 補植苗はいもち病の伝染源となるため、直ちに除去してください。
- 茎数が急増しやすいため、中干し適期を逃さないように、目標穂数の7～8割の茎数を確保したら直ちに中干しを開始し、過剰生育を防ぎましょう。

*2 田のワキ：稲わらなどが分解する際、ガスが発生すること。

- 今後の管理対策発信予定日 6月11日・20日、7月1日・11日・18日・25日・31日、8月21日

〔補足資料〕

1 農業普及指導センター及び作物研究センターの生育状況（5月29日現在）

コシヒカリ

○ 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「並」、茎数は「やや少ない」、葉数の進みは「並」です。

項目	本年値	指標値 (県平均)	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	23 cm	23 cm	並	100%
茎数	83 本/m ²	91 本/m ²	やや少ない	91%
葉数	4.9 葉	4.8 葉	並	+0.1 葉

注) 県内全域の15生育調査ほデータの平均値（田植え5月12日、栽植密度17.1株/m²）

新 之 助

○ 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「短い」、茎数は「少ない」、葉数の進みは「遅い」です。

項目	本年値	指標値	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	17 cm	24 cm	短い	71%
茎数	69 本/m ²	80 本/m ²	少ない	86%
葉数	3.8 葉	4.7 葉	遅い	-0.9 葉

注) 県内全域の15生育調査ほデータの平均値（田植え5月18日、栽植密度16.6株/m²）

こしいぶき （参考）

○ 指標値（生育のめやす）に比べ、草丈は「やや長い」、茎数は「やや多い」、葉数の進みは「並」です。

項目	本年値	指標値	指標値 との比較	指標値比・差
草丈	23 cm	21 cm	やや長い	109%
茎数	126 本/m ²	118 本/m ²	やや多い	107%
葉数	5.6 葉	5.3 葉	並	+0.3 葉

注1) 化学肥料栽培。田植え5月9日、栽植密度18.7株/m²

注2) 基肥窒素成分量 3.0kg/10a

注3) 長岡市長倉町（作物研究センター）の生育調査ほデータ

2 気象感応ほの生育から見たコシヒカリの中干し適期の予測（5月29日現在）

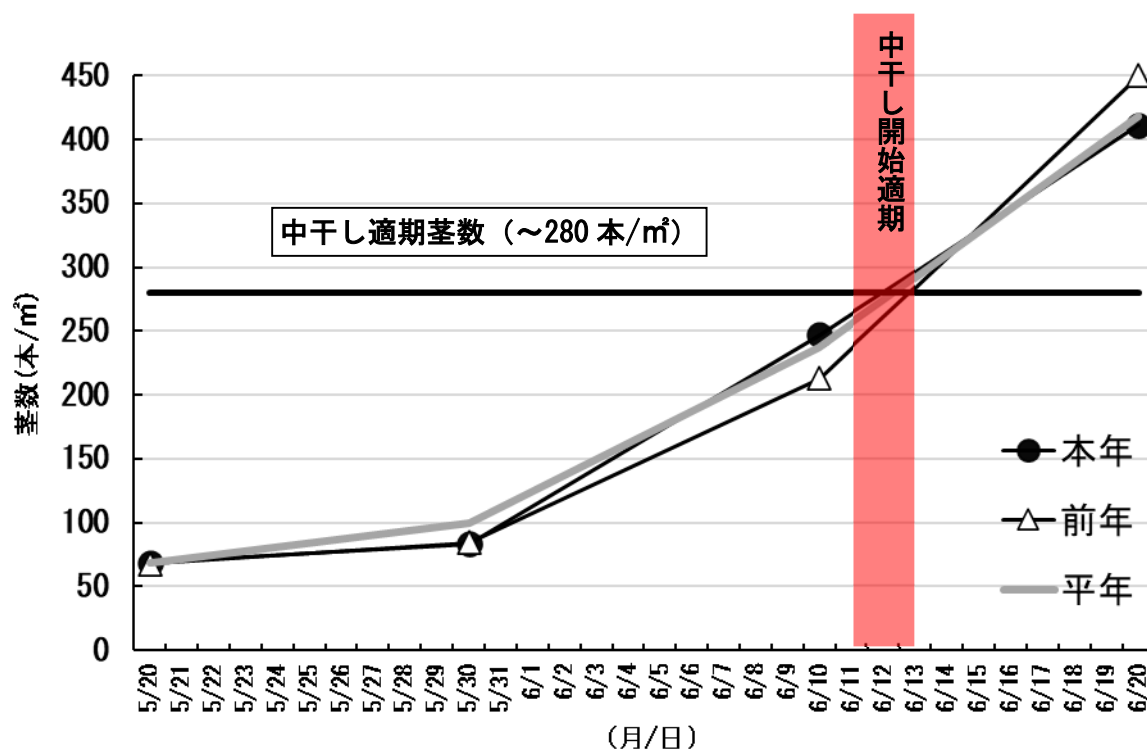
- コシヒカリの目標穂数 350 本/m²の 70～80%（茎数で 240～280 本/m²、50 株/坪植えて 1 株あたりの平均茎数 16 本程度）となる中干し適期は、5月29日現在の予測値で6月12日、田植後日数は31日となっています。

(1) コシヒカリの中干し適期の予測（全県の気象感応ほ 15 か所の平均）

項目	播種期 (月日)	田植日 (月日)	栽植密度 (株/m ²)	5/29 茎数 (本/m ²)	中干し開始適期予測	
					月日	田植後日数
本年	4月16日	5月12日	17.1	83	6月12日	31
前年	4月17日	5月11日	16.9	84	6月13日	33
平年	4月18日	5月12日	17.0	100	6月12日	31

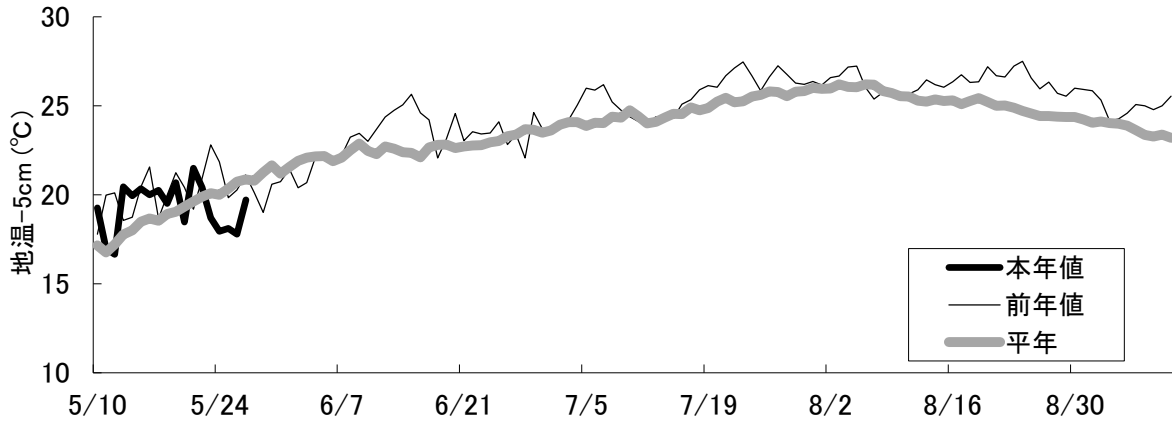
注1) 本年は、2001～2020年のデータから予測式を作成、本年5月29日現在の茎数と6月10日までの平均気温（メッシュ農業気象データの気温予測に基づく）から、中干し適期(280本/m²となる時期)を予測
 注2) 前年及び平年（過去10年の平均）は、茎数の実績から予測

(2) コシヒカリの推定茎数の推移（全県の気象感応ほ 15 か所の平均）

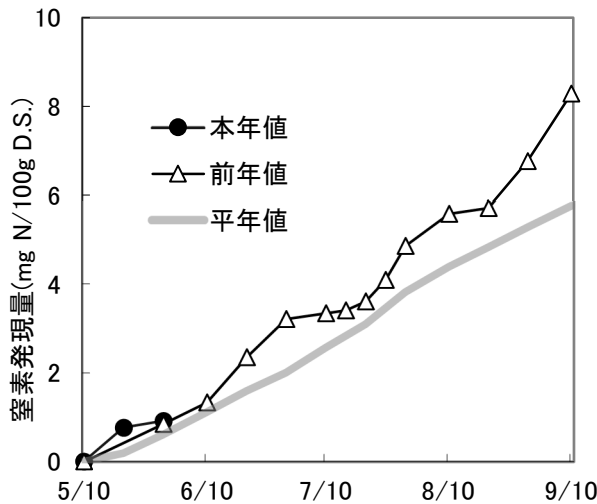


3 ちりょく 地力窒素の発現状況

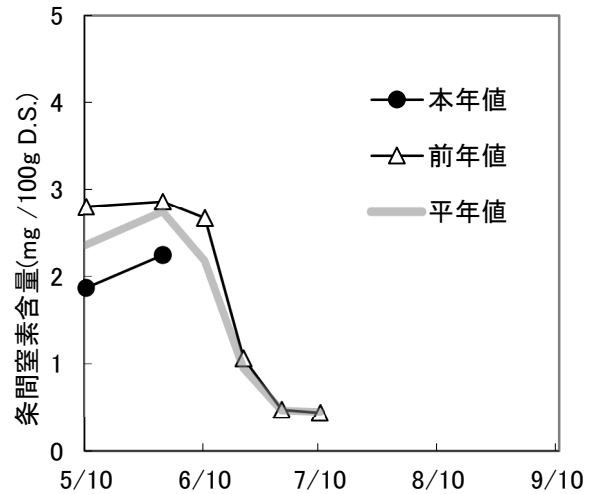
- 5/10～5/27 の期間の日平均地温は平年差+0.3°Cで平年並みに推移しました。この期間の地力窒素発現量は平年よりやや多いです。条間窒素含量は期間を通して平年よりもやや低く推移しています。



水田地温（5 cm 深）の推移
（農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査）



地力窒素発現量の推移(5月28日)
（農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査）
初期値=0、田植日：5月9日、化学肥料栽培
基肥窒素成分量：3.5 kg/10a



条間窒素含量の推移(5月28日)
（農業総合研究所内ほ場、基盤研究部調査）
田植日：5月9日、化学肥料栽培
基肥窒素成分量：3.5 kg/10a